

7月臨時会概要

7月18日に臨時会が開かれ、市長から、「工事請負契約の締結について」の事件案1件が提案されました。

提案された議案は、7月7日に仮契約をした仮称「飯山市子ども館」の建築主体工事の請負契約（契約金額2億8千8百36万円）の締結について議決を求められたものです。

これは、地方公共団体の財政に大きな影響を与える契約について地方自治法で議会の議決が必要とされており、飯山市の条例では1億5千万円以上の契約は議会の議決が必要と定められているため議案となったものです。

審査については総務文教常任委員会へ付託し、審査後、議場において委員長報告と採決を行い、採決の結果、原案のとおり賛成多数で可決となりました。

※ 議案の表決結果

○=賛成 ●=反対

* 長は委員長のため委員会での表決権はありません。
* 「-」は別委員会のため表決権はありません。

議案番号	議案等名	議員名													議決結果				
		松本淳一	飯田健一	荻原洋平	西澤一彦	江沢岸生	市川久芳	渡辺美智子	洪川芳三	高山恒夫	上松永林	竹井政志	久保田幸治	小林喜美治		山崎一郎	石田克男		
67	工事請負契約の締結について	委員会	○	-	○	-	-	●	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

木質バイオマス発電施設を視察

7月19日に、当市の戸狩工業団地に進出を計画しているグリーン・サーマル株式会社の子会社である「株式会社グリーン発電会津」および「株式会社グリーン発電三条」の2施設を11名の議員の参加を得て視察しました。

「株式会社グリーン発電会津」では平成24年7月から操業を行っており、発電規模は約5千基（約1万世帯分）との説明でした。

また、「株式会社グリーン発電三条」は、現在施設を建設中で平成29年秋の操業開始を予定。発電とチップ製造施設があるため、面積は3町歩はほしいとの説明がありました。

当市に進出した際には、現地法人を作り、現在のところ「三条」と同程度の規模の施設で操業をしたい旨の説明がありました。



(株)グリーン発電三条視察の様子

議会傍聴にお出かけください!!

平成29年9月定例会は左記の日程で開催予定です。市政を知る良い機会です。議会傍聴にお出かけください。議場は市役所5階です。傍聴席入口からお入りください。

平成29年9月定例会 会期日程(予定)

- ◆招集・議案上程 8月29日(火)
- ◆一般質問 9月6日(水)～8日(金)
- ◆予算決算常任委員会(分科会) 9月11日(月)・12日(火)
- ◆総務文教常任委員会 9月14日(木)
- ◆産業民生常任委員会 //
- ◆予算決算常任委員会(全体会) 9月15日(金)
- ◆委員長報告・採決 9月21日(木)

6月定例会 一般質問



6月13日～15日の3日間にわたり、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋しての掲載で、内容につきましては各議員において編集しております。なお、掲載の順番は質問順です。

共謀罪と介護保険について



小林喜美治議員

◆「共謀罪」について

質 森友学園、加計問題など疑惑が広がる一方、市民の自由と安全を危険にさらす「共謀罪法案」を自民党と公明党の政府与党は数の力で強行しようとしている。安倍政権は戦後最悪の内閣と指摘されている。飯山市議会でも慎重審議を求める意見書が採択されている。市長の見解をうかがう。

答 一般国民が処罰の対象にされる懸念を抱いている。テロの未然防止は大切であるが、国民の不安が消えないまま進めるのは避けるべきと考える。

◆介護保険について

質 2018年4月からの7期の事業計画策定が始まっているが、保険料の高騰が問題となっている。制度開始以来約2倍となっているが、7期の計画では保険料はどうなるのか。

答 7期の保険料については国で検討が進められていて、7月下旬に方針が示される。飯山市としては7月下旬以降に検討していきたい。飯山市は他より高齢化が進んでいるので、全国的な上昇率より低いのではと読んでいる。

足立市長6年間の検証



市川久芳議員

質 足立市政になって7年が経過しようとしているが、市長として業績(成果)を3つ上げて数値で説明を。

答 一つとして、市長になるとき、歴代の市長が市民とともに取り組んだ新幹線飯山駅の開業を成しとげた。開業前の乗車数21万人、開業後37万人の1.7倍となった。二つとして、市民会館を文化交流館ならぬとして建て替えることにより、年間利用者数は、前は2万5千人だが、新しくなって2.4倍の6万人となった。三つとして、子育て支援の充実を図ってきた。今まで1.5歳から受け入れてきたが1歳から受け入れている。平成22年以前は113人だったが現在は145人で28%増加している。もう一つ付け加えると、ふるさと納税の成果として、23年度は1千2百万円、26年度は6億2千万円、27年度は17億6千万円、28年度は11億百万円。合計35億4千5百万円を活用することができた。

山腹崩落災害対策について



渡辺美智子議員

質 現時点で仮堤防施工完了、今後の予定と避難指示解除は何を持って判断するか。

答 県による応急復旧工事が進んでいる。今後堰堤の流木、土砂等の除去について県で作業の安全性も含めて検討。避難指示解除については、人命に配慮をし、出来るだけ早く解除する方向へ。

質 引きこもり対策として若い時に仕事が出来る支援に取り組んでいるNPO法人がある。支援者を支援する事が市町村の任務と考えるがどうか。

答 市では、生活困窮者の学習支援を今年度から実施。就労支援についても先進地(秋田県藤里町)での就労支援の実態や、中野市のマイサポの取り組みについて研究していきたい。

◆引きこもり対策について

質 民間で子ども食堂が開設運営されている。市からの財政的支援及び、防災無線等で広報を行い、多くの子どもたちに利用できるような出来ないか。

答 何が有効か。検討。広報については児童手当の現況届提出時に案内を配布。また防災無線で広報をしていきたい。

公共施設等総合管理計画について



高山恒夫議員

質 計画策定のねらいと更新費用の推計は。

答 少子高齢化、人口減少、財政状況が背景となる。将来の更新費用は20年間で公共施設では356億円、インフラ資産では396億円と試算している。

質 公共施設での市民一人当たり延床面積は全国平均の2倍以上だが。

答 市域が広く、教育、集会施設が多いのが特徴。人口が少ない中で結果として数字を押し上げている。

質 削減目標の設定は。

答 施設ごとに個別計画を策定し平均20%の削減率を基本に考えている。

質 学校、保育園関連施設で公共施設全体面積の4割を占めている。

答 学校適正規模等検討委員会で来年度を目標に保育園も含め検討する。施設管理計画ありきではなく教育のあり方がどうあるべきかが最優先。

質 冬の急坂路安全対策は質的強化が必要だ。

答 地中熱利用など有効融雪装置について建設・管理に努めたい。

仮称「飯山市子ども館」について
萩原洋平議員

質 運営体制、指定管理の検討は。
答 館全体の統括、機能ごとの運営体制、指定管理も併せての検討を考えている。

質 年間の管理運営費とその財源は。
答 新しく始める事業が多々あり具体的な運営経費はまだ出ていない。

質 資格を必要とする職員を含め、全体でのスタッフはどう考えるか。
答 専門的施設もあり、管理運営体制を検討するなかで職員の体制も考えていく。

質 放課後児童デイサービス、子育て支援センター、病後児保育の対象はどう考えるか。
答 児童デイサービスは特別支援学校へ通学の児童で、利用は市外の方も対象、支援センターは保育園へ上がる前の親子、病後児保育は保育園児までで、利用は市全域を対象と考えている。



希望あふれる飯山へ
西澤一彦議員

質 多くの先生が超過勤務時間で80時間を超えている。飯山市の実態はどうか。
答 時期によっても、各々の先生によっても違う。

質 先生の人格と子どもとの人格が交流して子どもたちが素晴らしい薫陶を受けこの経験が将来試験の嵐に遭っても大きな力になる。そのために先生の事務処理を大幅に簡略化し余裕を持ってもらう。部活の顧問も部活指導者制度を導入し予算化を検討すべき。
答 重要な問題。一歩一歩課題を乗り越え教育をさらに充実させる。

質 集落サロンの世話人さんが高齢化している。サロン自体の消滅がないよう市の大きなフォローを要望するが。
答 集落サロンは重要。さらに力を入れて取組んでいく。

質 デスティネーションキャンペーンが始まり、信越自然郷、飯山を全国に売り出す絶好のチャンス。取り組みへの決意は。
答 近隣市町村とも協力連携し市を挙げて取り組む。市民も観光客に対し笑顔、手を振る等の協力をお願いしたい。

教育について
松本淳一議員

質 高校再編への対応はどうなっているか、小学校は適正規模の検討だけで良いのか。
答 高校は、農林・飯山高校については充分対応している。委員会では『保育園・学校課題検討委員会』としてトータルで保育園から中学校までを考えたものにし、地域の特性を踏まえてやっていく。7月中旬に立ち上げ、一定の方向性を出した。

質 中学校のクラブ指導を社会体育に任せられないか。
答 現状は厳しく、外部指導者の協力、教員の頑張りによって支えられている。将来はスポーツ少年団との連携も方向性として考えられる。

質 城北中学校の下课時の温井方面バスが利用できない、冬季のスクールバス運行にも新たな問題も予想されているが、状況を把握しているか。
答 状況を把握している。

質 今後どのようにするか。
答 全部を公共交通、スクールバスで対応するのは難しい。学校課題検討委員会の意見を聞きながら検討したい。

公共施設の管理計画について
山崎一郎議員

質 今後10年以内に大規模改修や更新の必要な施設費用が265億円と推計され、毎年20億円を超える状況であり、その50%が学校関連と子育て支援施設。少子化の現実を考えると、統廃合や取り壊し、また他の活用策を検討すべきと思うがどうか。
答 小学校と保育園の課題を検討する委員会を設置する予定であり、その中で統合を含めた課題を把握し検討する。

質 10年以内に教育関連施設等の改修や更新費用が100億円も必要である状況だ。学校施設の統廃合について理解を得るには相当期間が必要だ。具体的な検討を急ぐべきと思うが計画があるのか。
答 来月学校等の課題を検討する委員会をスタートさせる。

質 ではその委員会の課題として、市街地には幼稚園と私立の保育園がある。園児数の少ないあきは保育園としろやま保育園の統合を提案する。
答 しろやま保育園38人、あきは保育園29人といる状況。統合を含め検討したい。

芝生のサッカーグラウンド
飯田健一議員

質 瑞穂のサッカーグラウンドが芝生に整備されてから1年と少し経過します。サッカー関係者に聞くと、評判は上々のようです。私は以前にも提案しましたが、戸狩工業団地に芝のサッカー場を造成できないかと、今もそう思っています。戸狩工業団地は平成何年の造成で、何年間使われていたのですか。
答 平成6年の造成で23年間空いています。

質 芝生のグラウンドがあれば合宿の誘客ができます。戸狩工業団地の芝生グラウンド化はいかがですか。
答 農業用地を工業用地に農地転用したもので目的以外の利用はできません。草地ですが千曲川の河川敷に3面あるので合宿もそこを活用していただきたいと思います。

質 農工法の改正で業種解除になったではありませんか。
答 そうでありますが、やはり戸狩工業団地は工業目的に進めてまいりたい。

地域に根づいている企業について
上松永林議員

◆砂防ダムの点検を
質 今回の崩落災害で砂防ダムが効果を発揮した。市内の砂防ダムを総点検すべきでは。
答 管理は県、調整する。

◆文化芸術の振興について
質 法で定めている「文化芸術振興条例」を策定すべき。
答 必要性は認める。関係者および市民の意見を聞き、研究を進める。

◆産業振興について
質 産業振興は地方創生の要である。市の施策を問う。
答 起業支援、市融資制度、法人市民税標準課税等。

質 「雇用創出」の施策は。
答 起業支援、企業誘致、既存企業支援。

質 工業団地の現状と雇用は。
答 工業団地は5カ所、2割の11・5が更地となっている。雇用総数は1330人で、うち市内の雇用は550人。

質 優遇策の資金は血税。50人雇用の一社企業より、地元50社に各一人の雇用を生む施策を実施すべき。地域に根づいている企業を助成すべき。
答 行政の起業支援には限界がある。

秋津小学校のイロハモミジの保護について
渡川芳三議員

質 樹勢回復のためどの様な手入れを講じてきたのか。
答 肥料をくれたりと秋色々な手入れを講じてきた。市では危機管理と天然記念物という面からとらえ管理をしてきた。

質 保存の叶わない時の対応はどうか。
答 今年1年は接ぎ木、種子からの芽だし等の努力を行う。また、地域にモミジの状況をお知らせする等のことを児童の安全を確保しつつ進める。

◆大学との連携について
質 連携協定を締結している大学はあるか。
答 信州大学、文化学園と協定を締結している。

質 長野県立大学との連携をどの様に進めて行くのか。
答 大学の意向、どの分野で連携が可能か等を研究する。

◆農業振興計画について
質 現実的な目標となるのか。
答 各種の支援を行うことで目標を達成したい。

◆職員の採用について
質 将来の職員数の考え方は。
答 人口だけでなく同規模自治体との比較等、様々な検証を行いつつ検討する。

早い復旧復興を願って
久保田幸治議員

質 井出川山腹崩落災害復旧と今後の見通しについて。
答 応急対策として、護岸強化とダム上の流木と土砂の撤去。恒久対策として、ダムの新設を、国県に要請している。避難指示の解除は今後の対策状況で判断する。

質 避難勧告・指示の意味や違いを分かりやすい周知が必要と思うが。
答 今後わかりやすい周知に努める。

質 避難エリア決定の過程は。
答 長野県では災害防止法に基づく警戒区域図がある。県、地元役員と相談し大規模崩落のため、警戒区域内をベースに万が一に備え区域外の3世帯を加えた。

質 避難者の健康、精神面の対応は。
答 毎日夕食後、保健師において対応した。今後は必要に応じて対応する。

質 自然エネルギー活用(雪)事業の取組み状況は。
答 早急に計画する。

質 小水力発電事業に技術系職員も。
答 取り組みの中で考慮する。

日赤内科救急診療制限と救急搬送
江沢岸生議員

◆内科救急診療制限の現状
質 4月、内科救急外来は診療制限となった。5月以降はどうか。特に救急については、地域の病院として重要。一刻も早く救急体制が万全になるよう、行政も引き続き努力いただきたい。
答 本年4月から救急外来は、当面、水曜と金曜が終日、第2、第4日曜日が終日、診療不可。5月以降も、基本的に医師不足で、4月1日以降の救急診療体制は変わっていない。早急に内科救急診療制限の解消を図っていききたいと日赤から聞いている。

◆救急搬送のルール
質 急性心筋梗塞、脳卒中の場合、飯山市民は救急車を頼むと、どこの病院に運ばれるルールになっているか。
答 急性心筋梗塞、脳卒中等脳疾患の場合は、現在、飯山日赤には常勤医がいらないので、北信総合病院に搬送されることになっている。

子どもの医療費窓口無料化について
竹井政志議員

質 子どもが病気やけがをした時、お金を気にしなければならぬほど家族にとってつらいものはない。窓口無料化に向けた準備は。
答 窓口無料化を来年度から中学卒業までとするようにすすめている。

◆教育勅語の教材化について
質 戦後の歴代政権と文部科学省は教育勅語の教材化を否定。しかし政府は教材化の容認を決定。勅語の果たした役割をどう認識しているのか。
答 主権在君の道徳律は道徳で扱えない。戦前の子どもたちが自由にものが言えない、自由に考えられない面で大きな役割があった。

◆国連の「核兵器禁止条約」草案について
質 非核都市宣言をしている飯山市長としての受け止めは。また今後の具体的取り組みは。
答 核兵器が使用されないことはすばらしいこと。公民館活動等で平和学習を進める。

